

ファイリマングース (*Herpestes auropunctatus*) に関する情報 (案)

○原産地 ミャンマー、中国南部、バングラデシュ、ブータン、ネパール、インド、パキスタン、アフガニスタン、イラン

○定着実績：沖縄島、奄美大島、鹿児島県鹿児島市に定着（※鹿児島市の個体については、根絶確認中）

○評価の理由

- ・ 奄美大島、沖縄島で希少な在来生物を捕食することにより、生態系への被害が深刻化しており、防除などの対策がすでに実施されている。
- ・ 国外でも、食肉獣のいない島嶼に持ち込まれた際、在来の生物群集に対するインパクトが大きいことが指摘されており、本種が在来生物の絶滅要因になったとされる事例が報告されている。
- ・ 鶏卵、鶏雛に対する養鶏被害や、農作物への被害が報告されている。

○被害の実態（代表的な事例）

（1）生態系に係わる被害

- 多種多様な動物（絶滅危惧種も含む）を捕食している。アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、アカヒゲ、ヤンバルクイナ、キノボリトカゲ、ワタセジネズミ、オキナワアオガエル、イボイモリなど哺乳類から昆虫類まで様々な絶滅危惧指定種を捕食している（文献①②③④⑤）。

（2）農林水産業に係わる被害

- 鶏卵、鶏雛に対する養鶏被害や、農作物への被害が発生している（文献②）。

○影響をもたらしている要因

（1）生物学的要因

- 食性は昆虫類主体であるが、昆虫以外の節足動物、両生類、鳥類、哺乳類も捕食する（昆虫 71%、爬虫類 18%、軟体動物 12%など）。
- 昆虫類を多食する一方で、単位重量の大きい哺乳類、鳥類にも強く依存している
- 食物に対する選択性が小さく、あらゆる小動物を捕食しうる。
- 沖縄島、奄美大島のマングースは、両島の生態系において陸棲動物のほとんどを捕食できる高次捕食者である。
- 生存能力が非常に強いとされる。

- 繁殖期が長く、増殖力が大きい（一年のうち約6ヶ月間が繁殖期に相当）。

（2）社会的要因

- ハブの駆除を目的として意図的に導入された。

○特徴ならびに近縁種、類似種などについて

- 頭骨基底全長は、オスが56.3～71.5mm、メスが54.9～67.1mmである。また、頭胴長は250～370mmである。これに対し、近縁種のジャワマングースでは頭骨のサイズと形態が異なっており、オスが72.2～83.7mm、メスが64.2～79.2mmである。また、ジャワマングースの頭胴長は300～415mmであり、本種の方がジャワマングースより小型である（文献⑩）。

○その他の関連情報

- ニュージーランド及びアメリカでは輸入禁止種にリストされている。
- 西インド諸島、ハワイ、フィジーなどに導入され、生態系に影響を及ぼしている（特に西インド諸島では哺乳類と爬虫類、フィジーとハワイでは鳥類の絶滅・減少要因になったとされる（文献⑨））。
- 日本哺乳類学会は、環境省等に対して「移入哺乳類への緊急対策に関する要望書」を提出し、速やかな駆除を緊急に要する種に指定している。
- 最近の研究成果により、従来ジャワマングース（*H. javanicus*）とシノニムないし同種とされていたファイリマングース（*H. auropunctatus*）が別種とされ、国内に定着している個体群はファイリマングースであることが明らかになった（文献⑨⑩）。

○主な参考文献

- ① 石井信夫（2003）奄美大島のマングース駆除事業-特に生息数の推定と駆除の効果について，保全生態学研究，8，73-82.
- ② 環境庁・鹿児島県・自然環境研究センター（2000）平成11年度島しょ地域の移入種駆除・制御モデル事業（奄美大島：マングース）調査報告書，115pp.
- ③ Long, J.L. (2003) Introduced Mammals of the world. 589pp. CABI Publishing.
- ④ 小倉剛・佐々木健志・当山昌直・嵩山健二・仲地学・石橋治・川島由次・織田鉄一（2002）沖縄島北部に生息するジャワマングース（*Herpestes javanicus*）の食性と在来種への影響，哺乳類科学，42：53-62.
- ⑤ 沖縄県（2003）マングース対策事業（沖縄マングース生息調査）報告書，35pp.
- ⑥ 日本生態学会編（2002）外来種ハンドブック，地人書館，390pp.
- ⑦ Simberloff et al. (2003) Character displacement and release in the small indian mongoose, *Herpestes javanicus*, Ecology, 81:2086-2099.
- ⑧ 自然環境研究センター（2002）移入種（マングース）駆除調査報告書，27pp.

- ⑨ 池田透・山田文雄（2011） 各国のマングース対策とわが国の対策,（山田文雄・池田透・小倉剛編：日本の外来哺乳類） pp. 77. 東海大学出版会. 東京
- ⑩ Veron G, Patou ML, Pothet G, Simberloff D, Jennings AP (2007) Systematic status and biogeography of the Javan and small Indian mongooses (Herpestidae, Carnivora). *Zool Scr* 36: 1- 10.